



これからのグローバルな人的資源管理を考える
『第二回：本社Viewを聞く』

海外現法 & 本社の人事を
長年に渡りご経験された
ルーム、元シャープの
(現スタンレー電気)
事例を共有いただき、
海外拠点と本社人事のあり方を
一緒に考えませんか？

コロナ禍もたらした
海外拠点の人的資源管理の変化と、本社入社の対応と課題

11.29 (火) 日
14:00-15:30 @ オンライン

株式会社ウィル・シードは、10月から研究会『これからのグローバルな人的資源管理を考える』を開始いたしました。本研究会は、海外拠点を持つ企業の本社人事（経営企画）と現地の人事担当（経営者含む）が各社の取り組みを共有し、課題についてディスカッションし、解決をめざす新しい試みで、本年度は3回の開催を予定します。11月29日の第2回目はルームと元シャープ（現スタンレー電気）で海外現地法人人事及び本社人事をご経験されたお二方からお話をお伺いし、議論を深めます。

■ 各社が抱える人的資源の課題を、現地と本社人事が一緒に考える新しい試みです

ASEAN各国では1960年代から多数の日系企業が進出し、40年、50年の操業期間を迎えています。そして、ロイヤリティの高い現地人材を数多く育成・活用している企業も存在します。その一方、「本社との連携や日本語能力が原因でトップマネジメントを現地人材に移譲できない」、「海外拠点に専門家を置けるほど人事内のグローバル化が進んでいない」など、現地人材の活用や、グループ全体のグローバル化を阻む各社共通の課題が生じていることも事実です。これらの問題は、ここ数年のコロナ禍による人流の停滞も相まって、いっそう顕在化しています。

本研究会は、海外拠点と本社人事の皆さまが部門・会社の壁を超えて一堂に会し、これら「海外拠点の人的資源の活用」「日本本社のグローバル化」の課題解決を一緒に考える新しい取り組みです。

第二回目の研究会を11月29日に開催し、国際人的資源管理に通じた早稲田大学名誉教授の白木三秀氏、海外進出の歴史が長いルームやシャープで人事をご経験されたお二方をお呼びして、日本本社Viewを共有いただき、本社人事の視点から課題と解決策を考えます。

■「ASEAN海外拠点×本社人事の連携の在り方を考える研究会」概要

【日程】 第2回 2022年11月29日(火) 14:00～15:30

★本年度内に3回の開催を予定しています。第3回は1月に開催予定

【形式】 Zoomによるウェビナー形式

【内容】 第1部：本社人事Viewのご紹介（ローム、シャープ/スタンレー電気） 14:00～14:45

第2部：パネルディスカッション 14:45～15:30

【講演者】 堀部繁樹氏 スタンレー電気株式会社 人事部参事

木村誉勸氏 ローム株式会社 経営戦略本部 コーポレート企画推進室 室長

白木三秀氏 早稲田大学名誉教授 ウィル・シード顧問

【対象】 企業のグローバル人事、経営企画担当者、ASEAN海外拠点の人事担当者や経営者（定員100名）

【参加料】 無料

【申込】 ウィル・シードHPよりお申し込みください（<https://reg.willseed.co.jp/public/application/add/5178>）

【講演者プロフィール】

堀部繁樹氏 1992年シャープ株式会社入社。事業部人事を経て、人事本部へ異動し、海外赴任者制度改革はじめ新販売会社/新工場設立、モノづくりとHRの革新と融合策などに従事。2007年～2012年まで中国統括会社及び中国販売会社の人事総務責任者とRegional HR GMを兼務。2012年～17年アジア地域のRegional HR GMとしてRegional HR Policyを制定、日本帰国後は中国新事業会社の人事責任者へ。その後、日本ペイントホールディング株式会社傘下の自動車用塗料事業会社、日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社（NPAC）にグローバル人事部長として入社。2022年8月より現職。



木村誉勸氏 東北大学経済学部卒業後、大手ゼネコン入社。1999年にロームに入社。入社後は、人事部門において、人事制度企画やグローバル人事等の業務に従事。2007年から2011年には中国の現地法人にて管理部門の責任者を務める。帰任後、人事部門の責任者を経て、2021年1月から現職。経営戦略と人事戦略の連動を目指し、経営戦略本部の立場から、グループガバナンスやグループ全体のエンゲージメントの向上に取り組んでいる。



白木三秀氏 早稲田大学名誉教授、国土舘大学大学院客員教授・早稲田大学トランスナショナルHRM研究所顧問、ウィル・シード顧問。早稲田大学政治経済学部卒業、同大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士（経済学）。国土舘大学政経学部助教授・教授等を経て、1999年より早稲田大学政治経済学術院教授。2022年4月より現職。専門は労働政策、国際人的資源管理。最近の主な著作に『国際人的資源管理の比較分析』（単著、有斐閣、2006年）、『グローバル・マネジャーの育成と評価』（編著、早稲田大学出版部、2014年）、『人的資源管理の力』（編著、文眞堂、2018年）等がある。

